



パキスタン・イスラム共和国 Islamic Republic of Pakistan



たばこ産業の特徴

1. 公式データは無いが、シガレット消費規模は年間約600億本。(2002年)製造数量は申告上は年間580.7億本(2002年)。但し、密輸、偽造、課税回避製品により実情は大きく歪められている。
2. シガレット、水キセル、噛みたばこ、嗅ぎたばこなど多種類の製品が消費されている。
その内、シガレット喫煙者は27%と推定されている。
3. 喫煙者の嗜好は伝統的にバージニア・ブレンド製品であるが、近年その割合は減りつつある。
4. 密造、偽造、課税回避製品の販売は市場全体の28%を占めると推定されている。
5. Pakistan Tobacco社とLakson Tobacco社の2大メーカーで90%弱のシェアを占めている。

[1] 法規制等

警告文等：

シガレットの個装(側面)には、次の法定警告文の記載義務がある。
Smoking is injurious to health. Ministry of Health.
TN表示の義務はない。

喫煙場所規制：

国内線航空機内は全面禁止。国際線航空機は自主規制。
国有教育機関、政府建物、国営病院、公共交通機関は禁煙。公共の場所で規制あり。

広告規制：

映画、新聞、テレビによる規制あり。テレビによる広告は午後9時30分まで禁止。
テレビ広告完全禁止の圧力有り。法定警告文を明示する要あり。

販売促進活動：

サンプリングは禁止。未成年への販売禁止の自主規制。

喫煙規制の最近の動向

- ・大手メーカーPakistan Tobacco Co (PTC) とLakson Tobacco Co (LTC) の2社は、自主的に18歳未満の若者へのシガレット販売を禁止している。
この自主規制措置はシガレット・ディーラーや小売り店を通じて行われている。
- ・パキスタン医学学会、パキスタン心臓財団、NGOから成る反喫煙団体があり、閉切った空間での喫煙禁止規則を作ったが、この規則は公布されるばかりになっている。

[2] 税制

物品税：(2001年7月から以下の新税制になった)	
* 10本当たり小売価格がRs4.15を超えない場合	Rs1.77
* 10本当たり小売価格がRs4.15 ~ Rs10の場合	Rs1.77 + 小売価格のRs1当り Rs0.69
* 10本当たり小売価格がRs10を超えるもの	小売価格の63%。
販売税：	12.50%
輸入関税：	65%
アフガンからは	35%
中国、イラン、ネパールからは	25%

(2001年7月から輸入税は30%減税になった)

パキスタンのたばこ産業は同国では最大の課税アグリビジネスであり、物品税のみで政府は年間Rs159億の税収を上げている。

物品税と販売税の他に、連邦、州、地域、町村も課税している。
2000/2001年度のたばこからの税収は国家歳入の14%を占めている。

[3] 消費者プロフィール

- ・多くの喫煙者はシガレット、ビディ、フッカー(水キセル)、噛みたばこ、嗅ぎたばこなど色々な種類のたばこを喫煙している。
- ・パキスタンのシガレット喫煙者は1.4億人で喫煙者率は27%。
噛みたばこ、bidiを使う者は10%、水パイプたばこを吸う者は8.5%いと推定される。
各種たばこ製品を用いる女性の喫煙者率は5%である。

[4] 市場概況

- たばこ産業は100万人を超える雇用を生み出しており、パキスタン経済に対してRs600億(10億ドル)の付加価値をもたらしている。
- 公式の消費本数データは無いが、2002年度の消費本数は少なくとも600億本。
- シガレット・メーカーは製造免許取得の義務がある。
中央歳入委員会への申告製造数量に応じて高率課税されるために、シガレット・メーカーは脱税目的で生産額を正確に申告しない傾向がある。
申告による製造数量は2002年で580.7億本。
- 国内消費は毎年4~5%増加しているにもかかわらず、業界は課税回避製品や偽造製品に悩まされている。これら不法製造数量は年間40~50億本であると推定されている。
- 課税回避製品(一担輸出して国内に還流させることを目的とした製品で、個装に「輸出用」と記載してある)、密輸製品、偽造製品が市場で堂々と販売されており、これらの不法・違法製品はパキスタンで販売される数量全体の28%を占めると推定される。
- 正規メーカーは中価格帯ブランドの価格を50%値下げして課税回避製品に対抗している。
課税回避製品のシェアは1997年の17%から現在では8~10%に減ったと推定されており、効果を上げている。
- アフガニスタンにはたばこ産業がないために、シガレットの全量をパキスタンに依存している。
- パキスタンのシガレット産業はほぼ自給自足状態に近く、消費に占める輸入は極めて少ない。
ただし密輸される外国シガレットを含めると、輸入たばこのシェアは25%に達するとする見方がある。

シガレット関係データ

	2000年	2001年	2002年
フィルタ付き製造数	48,413	58,000	58,000
フィルタ無し製造数	76	75	70
合計製造数量	48,489	58,075	58,075
輸入数量	4,000	2,500	2,000
供給数量計	52,489	60,575	60,070
輸出数量	300	350	400
国内消費数量	52,189	60,225	59,670
出荷数量計	52,489	60,575	60,070

(出典 USDA Gain Report 2002)

*この他に年間5億本程度のビディが生産されている。

[5] 製品プロフィール

タール含有量 16.3~66mg
ニコチン含有量 1.2~14.2mg

平均価格(1999年, 出典EIU)
国産製品 0.50USドル
外国製品 1.04USドル

- 工場製シガレットの99.9%はフィルタ付きである。
販売数量の半分近くは低価格帯カテゴリーである。
- 伝統的にバージニア・ブレンド嗜好であるが、近年減ってきている。
第1位銘柄は Wills Gold Flake、第2位はEmbassy。
- ドルに対して大幅にルピーが切り下げられたために、パキスタン国内での輸入や密輸シガレットの価格が上昇している。
外国製シガレットは1包が当たり2から4ルピー値上がりし、Dunhillは今までの32ルピーから34、35ルピーで販売されている。
Benson & Hedgesはこれまでの35ルピーから、38ルピーに値上げされた。Marlboroは3ルピー値上げされ35ルピーである。
密輸される国際銘柄と国産高級銘柄の値段はほぼ同額レベルにある。

パキスタン市場の主要銘柄シェア等データ (%)

	2000年	2001年
Pakistan Tobacco (BAT)	53.9	47.5
Embassy	15.5	14.3
JP Gold Leaf	10.7	7.9
Wills Gold Flake	13.1	18.6
Lakson Tobacco (PM Int)	35.6	42.2
K-2	20.8	5.2
Red & White	8	4.8
Royals	4.7	3.9
Filter付き%	99.9	100
Virginia Blend %	69.9	50.9
Types of Packs		
Hard Pack	66.4	75.6
Soft Pack	20.4	12.1
Shell & Slide	11.2	12.3
消費本数	510億本	570億本

(出典 Maxwell Report)

[6] 小売り流通（密輸）

- シガレットに対する高率の物品税は深刻な密輸問題を提起している。
年間のシガレット密輸数量は18億本、課税回避製品52.1億本、偽造品が18億本と見積られる。
- パキスタン市場へ流入する主な密輸ブランドは、Dunhill, State Express 555, Marlboro, Hi-Lite, Mild Seven, Silk Cutなど。
- 偽造製品と課税回避製品の主なブランドは、John Players, Gold Leaf, Capstan, Embassy, Wills, Marlboro, Mild Sevenなど。
高度な機械がシンガポール、タイ、インド、中国、韓国、台湾から入ってきて、偽造を容易にしている。
偽造による政府の税収損失は年間Rs 40億と推定される。
- 正規のたばこ企業にとっての問題は、アフガニスタン国境のトライバル・エリアにある違法企業で、彼らは政府の徴税に対抗するためにカルテルを結成しており、税務署や関税当局のコントロールの外にある。
毎月4億本の偽造シガレットが製造されていると推定され、John Player, Gold Leaf, Red & White, Gold Flakes, 555, Marlboro, B&H, Mild Sevenが被害を受けている。
これらのシガレットはパキスタン国内や近隣諸国で売られており、中国のいくつかの省やアフガニスタン、旧ソ連の中央アジア共和国などの市場にも現れている。
- 2年前に正規メーカーの要求により、政府は警戒と取り締まりを厳しくした結果、多くの違法工場が閉鎖されたが、いくつかはトライバル・エリアやカシミールのような安全地帯へ逃れ、一部は移動工場になって取り締まりの目をくぐっている。

[7] メーカー概要

パキスタンには約24のシガレット会社があり38工場ある。
そのうち25工場は北西辺境の地にあり537億本を製造している。製造能力は全体で年間1,261億本。
大手シガレット製造企業はLakson Tobacco Co.とPakistan Tobacco Co.の2社で、90%のシェアを占めている。
残り10%弱を1ダースの中小会社で分け合っている。

Pakistan Tobacco Company Limited :

BAT系の企業。シガレットや食用油の製造販売を行っている。
同社の主要ブランドはWills King, Embassy, Capstan, Sundrop, John Player Gold Leaf, ジェラムとアトックの工場は非常に効率的。
BATは1998年に2,500万USドルの投資を行い、更に同額の投資を計画している。
パキスタンのシガレット市場に楽観視している。
売上げは8,753万USドル(1999年度)。
2003年4月に、テレビによるシガレット広告を中止すると発表した。

Lakson Tobacco Company :

PM International の関連企業。1969年に設立され、国内と輸出の両方で先頭に立っている。
主要銘柄はRed & White, Princeton, Royals, Mark-7など。
カラチの他、コトリ、サヒワル、マンドラ、マルダンなどに5工場所有。
Premier Tobacco社を合併して、流通システムの重複する部分を合理化してコスト低減に成功し、製造、マーケティングに投資する余力が出ている。
1999年の操業度は83%、それに契約製造7%を加えてトータル90%の操業度。従業員は2,570人。
売上げは8,457万USドル(1999年)。
2005年、PM Int が90%以上の株を取得し、実質的に子会社化した。

Premier Tobacco Industries Limited :

Philip Morris の提携企業。
主要銘柄はK2 (パキスタン以外ではバングラデシュでのみ入手可能)、Red & White, Cavenders。
現在は、Lakson Tobacco に併合されている。

[8] 葉たばこ概況

北西辺境州、パンジャブ州、シンド州の3州で葉たばこを生産している。
換金作物としてたばこは重要である。
ペシャワールにあるパキスタンたばこ委員会(1968年設立)が、葉たばこ生産を統括管理している。
この委員会は最低価格を決定し、耕作者向けの実地技術援助を行っている。
土壌と気候のために葉たばこ品質の改善の進歩は遅い。
葉たばこの種類は、干乾ルスティカ種、黄色種、パーレー種である。
主な輸出先は中近東、UAE、ヨーロッパ、極東、アメリカ。

葉たばこの生産と輸出入 (単位 トン)

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年
生産数量	na	na	103,430	104,096	92,100
輸入数量	900	976	832	482	600
輸出数量	2,500	3,750	4,924	6,500	7,500

原料種類別生産データ (単位 メトリックトン)

	2000年	2001年	2002年
黄色種	65,000	50,956	55,000
ダークエアキュアード	2,440	1,170	1,800
オリエント葉	15,104	9,650	15,000
ライトエアキュアード	21,260	20,500	21,000
パーレー葉	292	578	600
合計	104,096	82,854	93,400

(出典 USDA Gain Report 2002)